



# 2014年3月期 通期決算説明資料

2014年5月9日

株式会社ラック 経営企画管理室 IR広報部



1.2014年3月期 通期決算概要
 2.2015年3月期 連結業績予想
 3.2015年3月期 基本方針/事業重点施策



# 1.2014年3月期 通期決算概要

2.2015年3月期 連結業績予想 3.2015年3月期 基本方針/事業重点施策

## 連結決算ポイント



# 上期の遅れを下期に取り戻し、増収増益を達成!

### 売上高

● ディーラー事業はHW/SW販売の不振で減収となるも、SSS事業、SIS事業が増収となり売上高は1.6%の増収となる

### 営業利益

● 減価償却費の負担増や不採算案件の影響があったものの、売上の増加や利益率の改善により、売上総利益は前期並みとなる

● 販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は5.1%の増益となる

### 当期純利益

● 営業利益、経常利益の増加により当期純利益は10.4%の増益となる

### 主要経営指標

● 自己資本当期純利益率(ROE): 14.4% → 15.3%

● 1株当たり配当金:12円(DOE 5.2%)→ 13円(DOE 5.0%)予定

# 連結決算八イライト



## 前期比

科目	'13年3月期	'14年3月期		前期比増減			
1111	通期実績	通期実績	差異	率(%)	主な要因		
売上高	32,577	33,086	+509	+1.6	【売上高】 ・SSS事業の増収(+231M)		
営業利益	1,998	2,100	+101	+5.1	・SIS事業の増収(+473M) ・ディーラー事業の減収(△194M)		
営業利益率%	6.1	6.3	+0.2p	-			
経常利益	1,850	1,991	+141	+7.6	・売上総利益の減少(△17M) ・販管費の抑制(+119M)		
当期純利益	912	1,007	+94	+94   +10.4	【当期純利益】		
自己資本当期純利益率(ROE)%	14.4	15.3	+0.9p	1	・経常利益の増加(+141M) ・特別利益の減少(△59M)		
総資産経常利益率(ROA)%	9.6	11.2	+1.6p	p - 特別	・特別損失の減少(+149M) ・法人税等の増加(△142M)		
1株当たり当期純利益 <b>(EPS)</b>	35円04銭	39円70銭	+4円66銭	+13.3			
1株当たり純資産 <b>(BPS)</b>	243円10銭	275円15銭	+32円05銭	+13.2			
1株当たり配当金	12円	<b>13</b> 円(予)	+1円	+8.3			

# 連結決算八イライト



## 予想比

科目	'14年3月期	'14年3月期	予想比増減			
110	通期予想	通期実績	差異	率(%)	主な要因	
売上高	34,000	33,086	△913	△2.7	【売上高】 ・SSS事業の予想比減(△322M)	
営業利益	2,100	2,100	+0	+0.0	<ul><li>・SIS事業の予想比増(+457M)</li><li>・ディーラー事業の予想比減</li></ul>	
営業利益率 <b>%</b>	6.2	6.3	+0.1p	-	(△1,048M)	
経常利益	1,950	1,991	+41	+2.1	  【営業利益】   まり終刊券の予想比減(△215M)	
当期純利益	1,000	1,007	+7	+0.7	・売上総利益の予想比減(△315M) ・販管費の予想比減(+315M)	
1株当たり当期純利益 <b>(EPS)</b>	39円40銭	39円70銭	+0円30銭	+0.8	【経常利益、当期純利益】 ・概ね予想どおり	
1株当たり配当金	12円	13円(予)	+1円	+8.3	・11474 1765 このい	

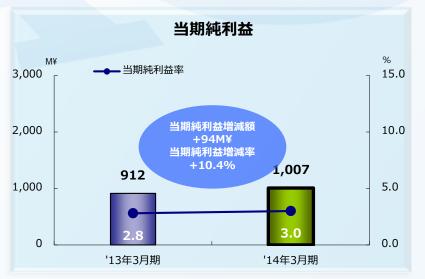


## 前期比



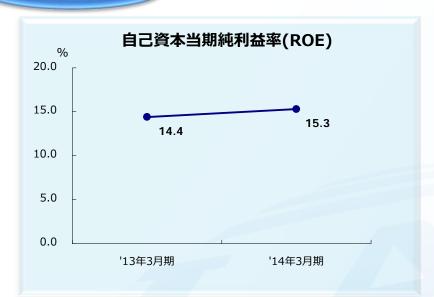




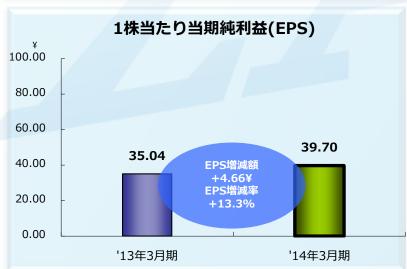


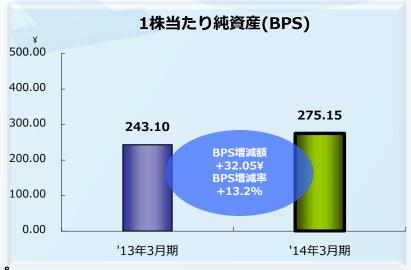


## 前期比



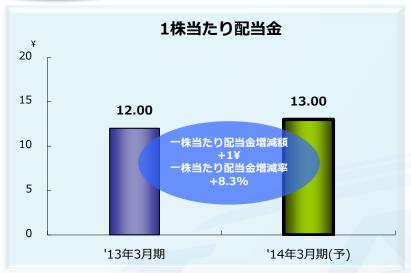




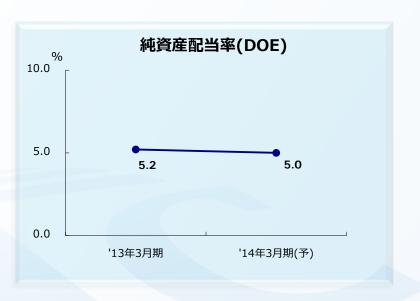




## 前期比









## 四半期比較





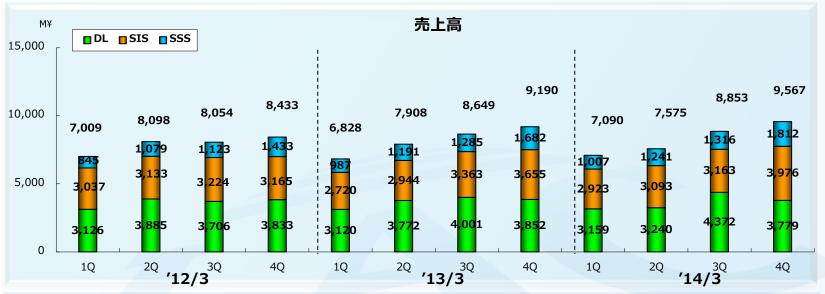




# [ご参考]



## 四半期推移





# 連結貸借対照表八イライト



## 前期末比

科目	'13年3月期末	'14年3月期末		前期末比増減
110	実績	実績	差異	主な要因
流動資産	12,269	10,556	<b>△1,712</b>	【流動資産】 ・受取手形及び売掛金の減少(△1,062M)
固定資産	6,981	5,803	<b>△1,177</b>	・前払費用の減少(△445M) ・繰延税金資産の減少(△354M)
資産合計	19,250	16,360	△2,890	【固定資産】
流動負債	9,115	7,388	<b>△1,726</b>	・のれんの減少(△458M) ・繰延税金資産の減少(△407M)
固定負債	3,940	1,976	△1,963	【流動負債】
負債合計	13,056	9,365	△3,690	・買掛金の減少(△553M) ・未払金の減少(△588M)
純資産合計	6,194	6,994	+799	【固定負債】
現預金	3,560	3,713	+153	・長期借入金の減少(△1,906M)
有利子負債	6,396	4,227	△2,168	・ 【純資産】 ・利益剰余金の増加(+677M)
自己資本比率	32.0%	42.7%	+10.7p	

# 連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト



## 前期比

科目	'13年3月期末	'14年3月期末	前期末比		
行日	実績	実績	主な内容		
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,082	3,003	【営業C/F】 ・税前当期純利益1,983M		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436	△272	・減価償却費727M ・のれん償却額458M		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,123	△2,591	<ul><li>・その他流動資産の減少 385M</li><li>・仕入債務の減少△554M</li></ul>		
フリーキャッシュ・フロー	2,645	2,730	<ul><li>・その他流動負債の減少△986M</li></ul>		
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	547	161	【投資C/F】 ・有形固定資産の取得による支出△160M		
現金および現金同等物期首残高	3,003	3,551	・ソフトウエアの取得による支出△132M		
現金および現金同等物期未残高	3,551	3,713	【財務C/F】 ・長期借入金の返済による支出△2,031		
時価ベースの自己資本比率(%)	95.4	80.2	・配当金の支払額△327M		
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	207.5	140.8			
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	30.7	49.9			

# セグメント別業績ハイライト



## 前期比

	'13年3)	月期	'14年3月	期	前期比	
が上回	通期実績	構成比%	通期実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	5,146	15.8	5,377	16.3	+231	+4.5
セキュリティコンサルティングサービス	2,103	6.5	1,904	5.8	△198	△9.4
セキュリティ診断サービス	946	2.9	1,142	3.5	+196	+20.8
セキュリティ運用監視サービス	2,097	6.4	2,330	7.0	+233	+11.1
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	12,684	38.9	13,157	39.8	+473	+3.7
開発サービス	12,684	38.9	13,157	39.8	+473	+3.7
ディーラー事業	14,746	45.3	14,551	43.9	△194	△1.3
HW/SW販売	6,515	20.0	5,394	16.3	<b>△1,121</b>	△17.2
IT保守サービス	7,585	23.3	8,544	25.7	+959	+12.6
ソリューションサービス	645	2.0	612	1.9	△32	△5.0
合計	32,577	100.0	33,086	100.0	+509	+1.6

# セグメント別業績ハイライト



## 前期比

セグメント利益	'13年3月期	'14年3月期	前期比	
ピングン「竹曲	通期実績	通期実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	1,327	1,432	+105	+7.9
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	2,085	1,881	△203	△9.7
ディーラー事業	407	469	+62	+15.4
消去又は全社(調整額、その他)	<b>△1,821</b>	<b>△1,683</b>	+137	-
合計	1,998	2,100	+101	+5.1

## セグメント別業績ポイント



### 前期比:SSS事業





### [総括]

▶セキュリティ対策への需要の高まりを受け、既存顧客との取引拡大や新規顧客からの受注拡大により、システム刷新に伴う減価償却費などの負担増を吸収し増収増益となる

### [サブセグメント別売上]

- ◆コンサルティングサービス
  - ▶ 既存顧客への深掘営業により受注が増加
  - ▶ 緊急対応サービスの受注が増加(出動件数:前期比 250件→326件)
  - ▶ 海外拠点の受注が減少
  - ▶ 業務内容変更に伴う他事業部への一部業務移管により売上が減少
- ◆ 診断サービス
  - ▶ 既存顧客からのリピート案件により受注が拡大
  - ▶ 緊急対応サービスの提供を契機とする新規案件の獲得により受注が拡大
- ◆ 運用監視サービス
  - 不正侵入を前提に情報流出を防ぐ対策への需要の高まりにより受注が拡大

## セグメント別業績ポイント



## 前期比:SIS事業





### [総括]

▶企業のIT投資の回復を背景に、第4四半期にかけて受注を大幅に拡大し増収となるも、第2四半期のクレジットカード業向け大型統合開発案件の不採算による影響のすべては補えず減益となる

### [売上]

- ◆開発サービス
  - ▶ 先送りされてきたシステム更新などの金融機関向け基盤系案件が引き続き好調
  - ▶ 公共向け大型案件における当社担当領域の拡大により受注が増加
  - ▶ クラウド技術活用案件やWebサイトのパフォーマンス診断案件などの受注が増加

## セグメント別業績ポイント



## 前期比:ディーラー事業



### [総括]

▶HW/SW販売が伸び悩み減収となるも、ネットワーク機器更改などIT保守サービスの売上増や利益率改善が寄与し増益となる

### [サブセグメント別売上]

- ◆HW/SW販売
  - ▶ 金融業やネット系サービス業向け案件など一部で受注が改善
  - ▶ クラウド活用の普及などによる案件の減少や小型化の進行が影響
- ◆ I T保守サービス
  - ▶ 引き続き価格の低減要請などの影響があるも、契約内容の見直し等により受注継続を推進
  - ➤ 金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件が寄与
- ◆ ソリューションサービス
  - ▶ 自治体向けシステム更新案件は引き続き順調なるも、新規受注が伸び悩む

# 主なニュースリリース/お知らせ[4Q]



[2014年1月~3月]	
•2014/01/23	正規のソフトウェアのアップデートで、不正なプログラムが実行される事案について (01/27、03/10に更新情報を公開)
•2014/01/29	ラック、有望な若手技術者の活動を支援するサポートプログラム "すごうで" の募集要項を発表 ~2月1日から3月31日まで、高いIT技術を持つ若武者の応募を受付~
•2014/02/07	平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
•2014/03/06	ラック、未知の不正プログラムやサイバー攻撃に対応する「セキュリティ監視・運用サービス」を拡充 〜米FireEve社製品を活用し、24時間対応の「マルウェア対策製品監視・運用サービス」を販売開始〜

# 主なニュースリリース/お知らせ[3Q]



[2013年10月~12月	
•2013/10/09	ラック、日本でも発生した『水飲み場型攻撃』に対して注意喚起 ~マイクロソフト社のセキュリティ向上に協力し、企業の安全確保を支援~
•2013/10/29	ラック、警察のサイバー犯罪捜査技術向上に協力 〜千葉県警のサイバー犯罪特別捜査官を受け入れ〜
•2013/11/08	平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
•2013/11/25	ラック、日本を包囲するサイバー攻撃への対策にセキュリティ研究組織を拡大 〜連携してサイバー攻撃対策の研究を強化する「サイバー・グリッド・ジャパン」構想を発表〜
•2013/12/04	ラック、巧妙で悪質なサイバー攻撃に対応するため、『標的型攻撃対策支援サービス』を拡充 〜米FireEye社製品を活用し、攻撃を正確に早期発見することで、企業の安全確保を支援〜
•2013/12/09 •2013/12/09	KDDI株式会社との事業拡大に向けた業務・資本提携の強化についてのお知らせ その他の関係会社の異動に関するお知らせ
•2013/12/21	ラック、20歳未満の有望な若手技術者の活動を支援するサポートプログラム"す・ご・う・で"を発表 ~2014年度の公募は2月の情報セキュリティ月間に開始~

# 主なニュースリリース/お知らせ[2Q]



[2013年7月~9月]	
•2013/07/10	【「Googleグループ」 における意図しない情報公開に関しての注意喚起】 のお知らせ
•2013/07/16	【Apache Struts2 の脆弱性(S2-016)を悪用した攻撃の急増について】 のお知らせ (07/18に更新情報を公開)
•2013/07/17	統合リスク管理レポート Vol.10「突如発生するセキュリティインシデントへの備え方」
•2013/07/19	情報提供に関する拡充計画のお知らせ
•2013/08/06	IT技術およびセキュリティの情報を掲載した「ラック レポート 2013 SUMMER」を発行
•2013/08/07	平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
•2013/08/08	JSOCの新しいレポート「JSOC INSIGHT 2013 vol.1」を公開
•2013/09/12	「9月18日に関連したサイバー攻撃に関しての注意喚起」情報公開のお知らせ (10/15に更新情報を公開)

# 主なニュースリリース/お知らせ[1Q]



[2013年4月~6月]	
•2013/04/25 •2013/04/25	社外取締役候補者選任に関するお知らせ 子会社の役員の異動に関するお知らせ
•2013/05/07	統合リスク管理レポートvol.09 「ビジネス戦略策定について考えた」
•2013/05/13	ラック、コールセンターのオペレータ評価を支援するシステムを提供開始
•2013/05/15 •2013/05/15 •2013/05/15	平成25年3月期 決算短信[日本基準](連結) 役員の異動に関するお知らせ 剰余金の配当に関するお知らせ
•2013/05/20	株式会社ラックと株式会社セキュアソフトがセキュリティ監視・運用サービスの提供を軸とした 販売・技術協力の契約を締結
•2013/05/21	定款の一部変更に関するお知らせ
•2013/06/12	人事異動および子会社の役員の異動に関するお知らせ
•2013/06/14	支配株主等に関する事項について



# 1.2014年3月期通期決算概要

3.2015年3月期基本方針/事業重点施策



## 前期比

#### (百万円)

科目	'14年3月期	'15年3月期	予想比増減		
171	通期実績	通期予想	差異	率(%)	
売上高	33,086	34,300	+1,213	+3.7	
営業利益	2,100	2,100	+0	+0.0	
	6.3	6.1	<b>△0.2</b> p	-	
経常利益	1,991	2,010	+18	+0.9	
当期純利益	1,007	1,070	+62	+6.2	
1株当たり当期純利益 <b>(EPS)</b>	39円70銭	42円17銭	+2円47銭	+6.2	
1株当たり配当金	<b>13</b> 円(予定)	13円	<b>0</b> 円	-	

### 【売上予想】

企業業績の改善を受け、情報セキュリティ対策やクラウドサービス、ビッグデータソリューションなどの分野を中心にIT投資の拡大が期待され、 SSS事業、SIS事業ともに増収を見込む。

#### 【営業利益予想】

更なる成長に向け、競争力強化のための投資(新サービスの開発、研究機能の強化、人材育成や優秀な人材の採用など)に加え、会社の目標 達成に向け、社員のモチベーションの向上を図るための処遇改善に伴うコスト増などにより、前期並みを見込む。



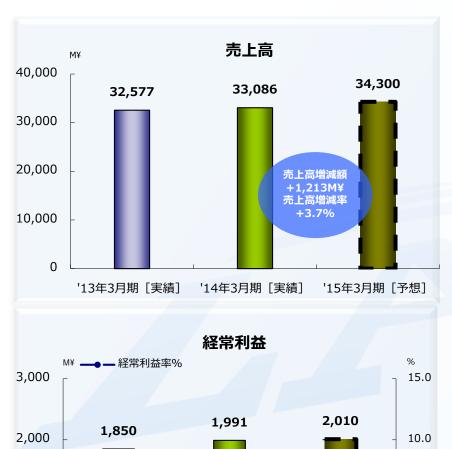
# 前期比

科目	'14年3月期	'14年3月期 '15年3月期		増減
1 <del>1</del> 1	2Q実績(累計)	2Q予想(累計)	差異	率(%)
売上高	14,665	16,060	+1,394	+9.5
営業利益	386	540	+153	+39.6
営業利益率%	2.6	3.4	+0.8p	-
経常利益	325	495	+169	+52.0
当期純利益	82	220	+137	+165.6
1株当たり当期純利益 <b>(EPS)</b>	3円26銭	8円67銭	+5円41銭	+165.6
1株当たり配当金	<b>5</b> 円	<b>5</b> 円	<b>0</b> 円	-

1,000

0





経常利益増減額

+18M¥ 経常利益増減率 +0.9%

'13年3月期[実績] '14年3月期[実績] '15年3月期[予想]



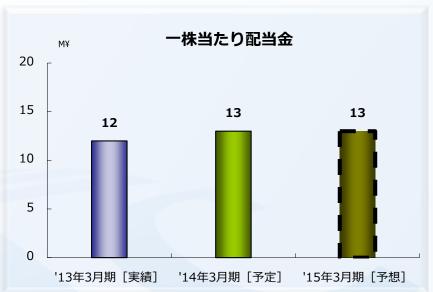


5.0

0.0



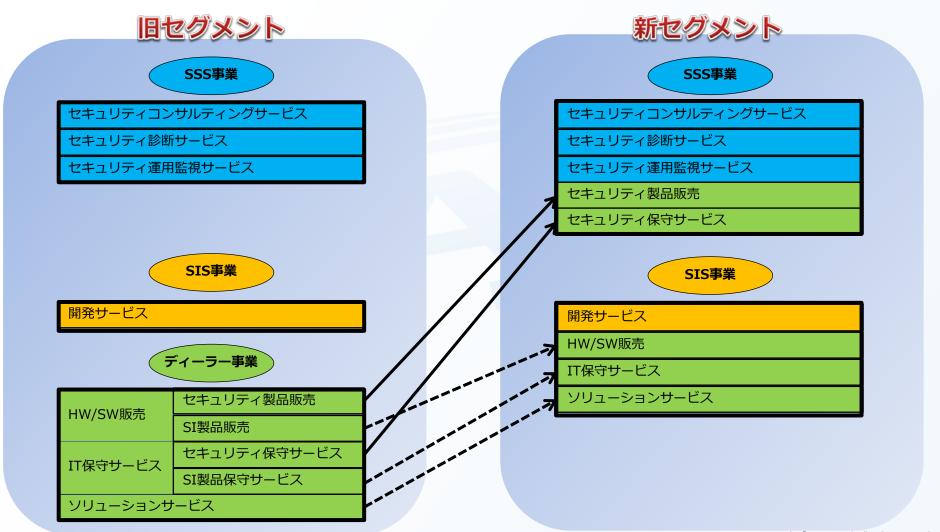




## 事業セグメントの変更



情報セキュリティを軸にソリューション提供を柱とする今後の事業運営を鑑み、2015年3月期より 事業セグメントを以下のとおり変更いたします。



# セグメント別業績予想



# 売上高/セグメント利益

### (百万円)

売上高	'14年3月期	'15年3月期	前期比	
	通期実績	通期実績    通期予想		増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	6,225	6,700	+474	+7.6
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	26,861	27,600	+738	+2.8
合計	33,086	34,300	+1,213	+3.7

L_ 67 ./ \ _   TII+6	'14年3月期	'15年3月期	前期比	
セグメント利益	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	1,515	1,555	+39	+2.6
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	2,267	2,707	+439	+19.4
消去又は全社(調整額)	△1,683	△2,162	△478	-
合計	2,100	2,100	+0	+0.0

# セグメント別業績予想



## 売上高/セグメント利益





\*消去又は全社調整前の利益

# セグメント別業績予想



# **サブセグメント別売上高**

売上高	'14年3月期		'15年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	6,225	18.8	6,700	19.5	+474	+7.6
セキュリティコンサルティングサービス	1,904	5.8	1,720	5.0	△184	△9.7
セキュリティ診断サービス	1,142	3.5	1,280	3.7	+137	+12.0
セキュリティ運用監視サービス	2,330	7.0	2,540	7.4	+209	+9.0
セキュリティ製品販売	246	0.7	485	1.4	+238	+96.6
セキュリティ保守サービス	601	1.8	675	2.0	+73	+12.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	26,861	81.2	27,600	80.5	+738	+2.8
開発サービス	13,157	39.8	13,160	38.4	+2	+0.0
HW/SW販売	5,147	15.6	6,270	18.3	1,122	+21.8
IT保守サービス	7,943	24.0	7,279	21.2	△663	△8.4
ソリューションサービス	612	1.9	890	2.6	+277	+45.3
合計	33,086	100.0	34,300	100.0	+1,213	+3.7



1.2014年3月期 運期決算概要
2.2015年3月期 連結業績予想

3.2015年3月期 基本方針/事業重点施策

## 基本方針



## 全社

### 経営環境

- ■自己資本比率が40%を超えるなど、積極的投資ができる財務基盤が整備された
- ■既存サービスの拡大にはさらなる要員確保が必要だが、SSS事業、SIS事業ともに環境は厳しい
- ■今後、さらなる成長を遂げるには、既存サービスの拡張以外に新たな取り組みが必要
  - ◆新たな市場ニーズへの対応(セキュリティ+クラウド、データコンピューディング、モバイル等)
  - ◆「人月」に頼らないサービス/ビジネスの創出

### 方針

- ■「強い会社」に向けた体制強化
  - ◆次代のリーダーとなる若手社員の内部育成
  - ◆事業運営の活性化に向けた人材の再配置
  - ◆採用活動の強化
- ■事業の強みを生かした安定収益源の確保
  - ◆SSS事業
    - ●情報セキュリティ市場における一層の差別化および競争力の強化
    - 初期対応からコンサル、運用まで一貫したサービス提供の拡充
  - ◆SIS事業
    - パートナー戦略の強化
    - トラブルプロジェクトの未然防止
- ■さらなる成長へ向けた投資と新ビジネスの創造
  - ◆最先端のセキュリティ技術や製品の研究、開発(サイバー・グリッド・ジャパン)
  - ◆次なる成長分野となる国内外の新事業の立案および推進を加速(事業戦略室)

## 事業重点施策



# SSS事業

### 市場環境

標的型サイバー攻撃や官公庁・企業のホームページ改ざん、個人情報漏えいなどセキュリティ関連の事件・事故は後を絶たないなか、引き続き市場は拡大すると思われる。一方で競合他社との価格やサービス品質の競争がますます激化し、より信頼性・独自性が求められると予想。

### 重点施策

- ■監視サービスの強化
  - ◆監視対象機器の拡充(サービスラインナップの拡大)
  - ◆顧客設置型SOC (PSOC) の事業化
  - ◆上記サービス提供に伴う製品販売の拡充
- ■大型案件の獲得
  - ◆上流コンサルティングから参画
  - ◆顧客に応じたセキュリティマネジメントサービス(MSS)の提供
- ■セキュリティ技術者の確保、育成
- ■セキュリティアカデミー事業の拡大
- ■日本企業の海外展開を情報セキュリティ面から支援
- ■我が国のセキュリティ産業の健全な発展に貢献

## 事業重点施策



## SIS事業

### 市場環境

長らく続いた企業のIT投資への抑制が緩やかな解消傾向にある。金融業を中心にシステム統合などの大型構築案件が見込まれるものの、推進面では未だ慎重な姿勢が残る。一方、クラウド・モバイル・ビッグデータなど注目される技術活用の潮流は続き、運用コスト削減や企業成長と経営効率へ直結するIT投資は活発化し、多様な技術への迅速なデリバリー力が求めれると予想。

### 重点施策

- ■市場開拓
  - ◆基盤系サービスの拡大強化
  - ◆非金融業のネット系ビジネス
  - ◆新商材・新ビジネススキームの企画推進
- ■大型案件の獲得
  - ◆金融業向け大型システム統合案件への対応力強化
- ■サービスデリバリー強化
  - ◆ビジネスパートナーとの新スキーム構築
  - ◆キャリア採用推進
- ■HW/SW販売をソリューション提案に含め拡販



We provide IT total solutions based on advanced security technologies



Thank you. Any Questions?

- ※ 本資料は2014年5月9日現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ 本資料に掲載の図は、資料作成用のイメージカットであり、実際とは異なる場合があります。
- ※ 本資料は、弊社が提供するサービスや製品などの導入検討のためにご利用いただき、他の目的のためには利用しないようご注意ください。
- EAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。



### 株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー Tel 03-6757-0107 Fax 03-6757-0100 ir@lac.co.jp www.lac.co.jp